

アステロイドの射影【ベクトル方程式の活用】

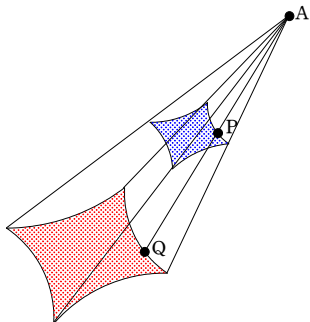
座標空間内の平面 $z=1$ 上に曲線 $x=\cos^3\theta, y=\sin^3\theta$ ($0\leq\theta\leq 2\pi$) で囲まれた図形 D がある。 $h>1$ として、点 (a, b, h) より図形 D に光をあてる時、平面 $z=0$ 上に写る D の影を D' とする。

このとき、 D' の周囲の長さを求めよ。

< '99 お茶の水女子大 >

【戦略】

図形 D の境界線を C 、図形 D' の境界線を C' として、 C 上のある1点 P に注目し、点 P に光が当たったときを考えます。



この図のように P に対応する Q を捉え、 P が C 上を動いたときの Q の軌跡が C' というように捉えればよいでしょう。

$P(x, y, 1)$ に対して、 $Q(X, Y, 0)$ が対応したとすれば、目標は X, Y が満たす条件式を Get することです。

(x, y には $\begin{cases} x=\cos^3\theta \\ y=\sin^3\theta \end{cases}$ という関係式があります。)

$\overrightarrow{AQ}=t\overrightarrow{AP}$ と、 \overrightarrow{AP} を伸ばして \overrightarrow{AQ} を得る方向性を考えますが、この t は Q が平面 $z=0$ に乗るような「うまい倍率」です。

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OQ} &= \overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{AP} \\ &= (1-t)\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OP} \\ &= \begin{pmatrix} (x-a)t+a \\ (y-b)t+b \\ (1-h)t+h \end{pmatrix} \end{aligned}$$

ですから、 z 成分が0であることより、 $(1-h)t+h=0$ 、すなわち

$$t = \frac{h}{h-1}$$

を得ます。

$$\text{これにより、} \begin{cases} X = (x-a) \cdot \frac{h}{h-1} + a = \frac{h}{h-1}x - \frac{1}{h-1}a \\ Y = (y-b) \cdot \frac{h}{h-1} + b = \frac{h}{h-1}y - \frac{1}{h-1}b \end{cases}$$

となり、

$$\begin{cases} X = \frac{h}{h-1}\cos^3\theta - \frac{1}{h-1}a \\ Y = \frac{h}{h-1}\sin^3\theta - \frac{1}{h-1}b \end{cases}$$

と、 Q の軌跡である C' のパラメータ表示が得られました。

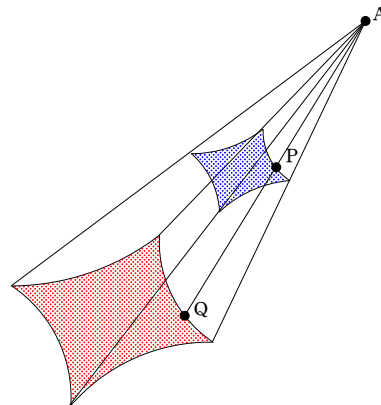
あとは、パラメータ表示された曲線の長さの公式

$$\int_{\alpha}^{\beta} \sqrt{\left(\frac{dX}{d\theta}\right)^2 + \left(\frac{dY}{d\theta}\right)^2} d\theta$$

を用いて捌いていけばよいでしょう。

【解答】

点 $A(a, b, h)$ とし、 D の境界線 C 上の点 $P(x, y, 1)$ に点 A から光を当てたときの $z=0$ 上にできる影が表す点を $Q(X, Y, 0)$ とする。



直線 AP 上の点 Q は実数 t を用いて

$$\begin{aligned} \overrightarrow{OQ} &= \overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{AP} \\ &= \overrightarrow{OA} + t(\overrightarrow{OP} - \overrightarrow{OA}) \\ &= (1-t)\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OP} \end{aligned}$$

と表せ、

$$\begin{aligned} \begin{pmatrix} X \\ Y \\ 0 \end{pmatrix} &= (1-t) \begin{pmatrix} a \\ b \\ h \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} x \\ y \\ 1 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} (x-a)t+a \\ (y-b)t+b \\ (1-h)t+h \end{pmatrix} \end{aligned}$$

z 成分に注目すると、 $(1-h)t+h=0$ 、すなわち $t = \frac{h}{h-1}$

ゆえに、

$$\begin{aligned} X &= (x-a) \cdot \frac{h}{h-1} + a & Y &= (y-b) \cdot \frac{h}{h-1} + b \\ &= \frac{h}{h-1}x - \frac{1}{h-1}a & &= \frac{h}{h-1}y - \frac{1}{h-1}b \end{aligned}$$

つまり、 C 上の点 $P(x, y, 1)$ を動かしたとき、 $Q(X, Y, 0)$ の軌跡が表す曲線 C' は平面 $z=0$ 上で

$$\begin{cases} X = \frac{h}{h-1}\cos^3\theta - \frac{1}{h-1}a \\ Y = \frac{h}{h-1}\sin^3\theta - \frac{1}{h-1}b \end{cases}$$

というパラメータ表示で与えられる。

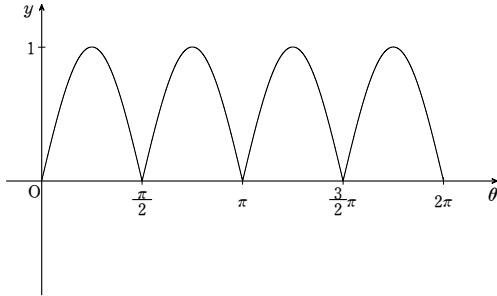
$$\frac{dX}{d\theta} = \frac{h}{h-1}(-3\cos^2\theta\sin\theta), \quad \frac{dY}{d\theta} = \frac{h}{h-1}(3\sin^2\theta\cos\theta)$$

よって、

$$\begin{aligned} \left(\frac{dX}{d\theta}\right)^2 + \left(\frac{dY}{d\theta}\right)^2 &= \left(\frac{h}{h-1}\right)^2 \{9\cos^4\theta\sin^2\theta + 9\sin^4\theta\cos^2\theta\} \\ &= \left(\frac{h}{h-1}\right)^2 \{9\sin^2\theta\cos^2\theta(\cos^2\theta + \sin^2\theta)\} \\ &= \left(\frac{h}{h-1}\right)^2 (9\sin^2\theta\cos^2\theta) \end{aligned}$$

求める D' の周囲の長さを L とすると

$$\begin{aligned} L &= \int_0^{2\pi} \sqrt{\left(\frac{dX}{d\theta}\right)^2 + \left(\frac{dY}{d\theta}\right)^2} d\theta \\ &= \int_0^{2\pi} \frac{h}{h-1} \cdot 3 |\sin\theta \cos\theta| d\theta \\ &= \frac{3h}{2(h-1)} \int_0^{2\pi} |\sin 2\theta| d\theta \end{aligned}$$



$y = |\sin 2\theta|$ の $0 \leq \theta \leq 2\pi$ の範囲におけるグラフは上の図のようになり

$$\begin{aligned} \int_0^{2\pi} |\sin 2\theta| d\theta &= 4 \int_0^{\pi/2} \sin 2\theta d\theta \\ &= 4 \left[-\frac{1}{2} \cos 2\theta \right]_0^{\pi/2} \\ &= -2 \left[\cos 2\theta \right]_0^{\pi/2} \\ &= -2(-1-1) \\ &= 4 \end{aligned}$$

ゆえに,

$$\begin{aligned} L &= \frac{3h}{2(h-1)} \cdot 4 \\ &= \frac{6h}{h-1} \dots \text{答} \end{aligned}$$

【総括】

アステロイドと呼ばれる有名曲線の射影を考えるという題材です。

空間座標における直線はベクトル方程式で表す

という基本を運用しています。

Q は線分 AP を $h:1$ に外分する点であると捉え

$$\overrightarrow{OQ} = \frac{-\overrightarrow{OA} + h\overrightarrow{OP}}{h-1} = -\frac{1}{h-1} \begin{pmatrix} a \\ b \\ h \end{pmatrix} + \frac{h}{h-1} \begin{pmatrix} x \\ y \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \frac{h}{h-1}x - \frac{1}{h-1}a \\ \frac{h}{h-1}y - \frac{1}{h-1}b \\ 0 \end{pmatrix}$$

と出してもよいでしょう。

さらに、この路線の場合、 $\overrightarrow{OQ} = \frac{h}{h-1}\overrightarrow{OP} - \frac{1}{h-1}\overrightarrow{OA}$ と見ると

C' は C を $\frac{h}{h-1}$ 倍に相似拡大して、 $-\frac{1}{h-1}\overrightarrow{OA}$ 方向に平行移動したものと考えることができます。

これにより、 C の周囲の長さを

$$\begin{aligned} \int_0^{2\pi} \sqrt{\left(\frac{dx}{d\theta}\right)^2 + \left(\frac{dy}{d\theta}\right)^2} d\theta &= \int_0^{2\pi} \sqrt{9\sin^2\theta \cos^2\theta} d\theta \\ &= 3 \int_0^{2\pi} |\sin\theta \cos\theta| d\theta \\ &= \frac{3}{2} \int_0^{2\pi} |\sin 2\theta| d\theta \\ &= \frac{3}{2} \cdot 4 \int_0^{\pi/2} \sin 2\theta d\theta \\ &= 6 \end{aligned}$$

と計算し、これを $\frac{h}{h-1}$ 倍して C' の周囲の長さは $\frac{6h}{h-1}$ と求めてもよいでしょう。